



— 桜「舞姫」の成長日記 —

日本花の会様よりお譲りいただいた桜の苗木2本を、3月9日にリハパーク舞岡の敷地内に植樹を行いました。今回より桜「舞姫」の成長を記していくたいと思います。

植樹した場所は、門を入って中央花壇と、裏の駐車場です。昔、畑をしていた場所の土と肥料をたっぷりとあげて準備万端。成長する舞姫を見守っています。

2ヶ所違う場所に植樹すると、太陽の当たり具合や周囲の木々の状況で、成長の早さが違うことがよく分かります。空に向かって上へ上へと伸びる「舞姫」、左右に伸びる「舞姫」と2本の特徴が出ています。舞姫は八重桜で鮮やかなピンク色の花が特徴のこと、苗木が木へ成長している途中ですから、今後がとても楽しみです。

成長後の「舞姫」

—— SAKURA ——

— 編集後記 —

気温もスポーツも暑い熱い日々が終わりを迎えホッと一息付いている頃かと思います。コロナの影響により東京オリンピック、パラリンピック開催には賛否両論あり、始まる前から色々考えさせられる大会でしたが、選手達の活躍を見る事で東京オリンピック、パラリンピックを開催できて良かったと感じたのは私だけではないと思います。

選手達のオリンピックに掛ける思いは、テレビ越しでも十分伝わりメダルに関係なく私達に感動と元気を与え、応援した人たちにも頑張る勇気を与える魔法のようにも感じました。

ご利用者の多くが57年前の東京オリンピックを見たことで自分達も頑張ろう、努力は裏切らないと言う魔法にかかり、その後の経済成長に拍車を掛け日本を大きく飛躍させた立役者であり、当時の若者の頑張りに敬意と感謝を感じつつ、現役世代の私たちがバトンを受けとり、日本の未来の為に頑張ろうと奮い立たされた東京2020オリンピックでした。

介護課長：青木



介護老人保健施設 リハパーク舞岡
〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町3048-4
TEL : 045 - 825 - 3388

— アクセス —

- 交通機関をご利用の場合は……
 - ▷横浜市営地下鉄ブルーライン「舞岡駅」下車
2番出口より 徒歩 約10分
 - ▷JR東海道線・横須賀線「戸塚駅」
東口戸塚 22系統 舞岡行バス乗車 10分
終点「舞岡」下車 徒歩 約10分
- タクシーをご利用の場合は……
 - ▷JR「戸塚駅」東口タクシー乗り場より約15分
 - ▷横浜市営地下鉄ブルーライン「上永谷駅」
駅前タクシー乗り場より15分
- お車でお越しの方は、来客駐車場（無料）完備



社会福祉法人 親善福祉協会
介護老人保健施設

リハパーク舞岡

広報誌

第34号

2021年10月



リハパーク舞岡祭りの様子



Contents

- 本入所・ショートステイ
- 通所リハビリテーション
- イベント情報
- 桜「舞姫」の成長日記



公式サイトは
こちらから

本入所・ショートステイ



「超強化型」老健として医療、看護、介護、リハビリテーション、栄養等の様々な専門職が集まり、多職種協働で「在宅復帰」「在宅支援」を行っています。在宅復帰後もリハビリテーションが必要になったときには再入所（リピート利用）が可能です。

● 本 入 所

【定 員】100床
【居 室】ユニット型 全室個室

【入所要件】要介護1～5

● ショートステイ

【定 員】空床利用（4床確保）
【入所要件】要支援1～2、要介護1～5

ご相談・ご見学はお気軽にご連絡ください 支援相談員：小山めぐみ／猪脇隆志 045-825-3388 (平日9:00～18:00)

介護職員によるユニット個別リハビリ

ADL維持に向けた生活リハビリだけでなく、ADL向上を目的に介護職員によるユニット個別リハビリを行っています。全入居者様が対象ではありませんが、在宅復帰を目的に入居された方を中心にリハビリ課職員より介護職員が実施できるリハビリ指示書を作成してもらい、指示書に沿った個別リハを行っています。



敬老プレゼント・感染対策

9月20日 敬老の日、リハパーク舞岡ではお祝いとして入居されている皆様に「健康長寿ハンドタオル」と握って潰せる「ストレスリーサー」をプレゼントしました。



リハパーク舞岡の食事介助では、コロナ感染対策として食事介助者はフェイスシールドとマスクを装着して感染対策に努めています。



8月11日 リハパーク納涼花火大会



数年ぶりに花火大会を行いました。ABユニット側とCDユニット側の2か所同時打ち上げを行い、入居者の皆様は、各階のバルコニーから観賞となりましたが、綺麗な夕日で気分も上がり、25発の打ち上げ花火と20発の噴出花火は迫力満点で皆さん楽しんでいました。



通所リハビリテーション



ご相談・ご見学はお気軽にご連絡ください 支援相談員：牧島 紀子 045-825-3388 (平日9:00～17:30)

リハビリテーションの様子



B1欠乏の存在が明らかに

今回の研究代表者である、神奈川県立保健福祉大学栄養学科五味准教授に承諾をいただき「ビタミンB1栄養状態と食形態との関係（調査期間令和3年1月～3月）」の一部を報告致します。今回の研究目的は、食べやすく工夫した各食形態のビタミンB1含有量と血液中のビタミンB1の関係についてです。これまで要介護高齢者に対するビタミンB1の報告はなく、先進的な研究となります。当施設が開設当初から食事形態の構築と栄養素の損失について調査してきた取り組みと合致していること、さらに今後ご利用者への栄養支援に役立てたい思いがあり研究に協力することになりました。

ビタミンB1は、水に溶ける水溶性ビタミンのひとつで、不足すると糖質がうまくエネルギーにならないため、食欲がなくなる、疲れやすいなどの症状がみられます。欠乏症には、脚気（足の浮腫、しびれ、動悸・息切れ）やウェルニッケ・コルサコフ症候群(中枢神経が侵される障害)があげられ、重篤な場合は死亡することもあります。高齢者では、1日2食、小食などの理由から必要な栄養量の不足や、パンや麺類などの糖質が中心となる食生活によりビタミンB1欠乏が予測されます。

今回の研究結果では食べやすく工夫した食形態は、よりビタミンB1の含有量が低値でした。特に手作りのムース食（学会分類3※）は、調理工程の多さから栄養価の損失を招いていると推察します。現在は損失を加味しビタミンB1を補っています。また、臨床検査では全血ビタミンB1値で50%以上の方が基準値を下回っていました。この数値は想定していた以上の多さで大変驚きました。今回の研究結果である血液中のビタミンB1が低値であることと食形態に関係があったのかについては、今後改めてご報告させていただきます。研究にご協力頂きましたご利用者様に深く感謝申し上げます。

※一般社団法人 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 (jsdr.or.jp)
2021年7月25日アクセス

【参考】

- 日本人の食事摂取基準（2020年版）ビタミンB1推奨量
65～74歳：男性1.3mg・女性1.1mg。75歳以上：男性1.2mg・女性0.9mg。

